

夕焼けが御在所岳の一角を
照らしてすぐさま静かに消える
重なりあふ赤と白との山茶花の
花卉を被ふ師走の雪はも

古い二人思い思いの夜をすこす
気配感じつつ我は読書す

四階は停まりませんと書いてある
エレベーターの四階が開く

干あがりし裏の小川に青鷺が
魚を啄む初冬の夕暮

ハグをする息子の背中の温かさ
それも束の間離れてゆきぬ

第84回 写真で振り返る こもの

このコーナーでは菰野町の懐しい風景を紹介しします。今月号では昭和初期の三の瀬付近の写真を紹介しします。



写真の撮影場所



昭和初期の三の瀬付近

DATA 1月のデータ

	件数	1月からの累計
火災発生	2	2
救急車出動	152	152
交通事故	7	7
急病	113	113
一般負傷	24	24
その他	8	8
救助出動	0	0
交通事故	96	96
物損事故	91	91
人身事故	5	5
死者	0	0
傷者	7	7

	数	増減
総人口	41,845人	-9人
男	20,705人	-11人
女	21,140人	+2人
総世帯数	16,415世帯	+5世帯
下水道接続人口	28,473人	+61人
接続率(対総人口)	68.0%	+0.1%

1月末現在



社会福祉のために▶匿名で1万円▶匿名で玄米15キロ▶コモノ・アスレチック運営から93,459円▶あゆみの会から16万円▶匿名でバスタオル6枚入り4セットとサウナマット3枚入り6セット

平成30年北海道胆振東部地震災害へのご支援ありがとうございます

菰野町では、平成30年北海道胆振東部地震の被災地に対する義援金の受付を行っています。皆様から義援金として、58,787円(2月20日現在)のご支援をいただいています。この義援金は日本赤十字社三重県支部を通じて被災地へ送ります。

【問い合わせ】総務課安全安心対策室 TEL391-1102 FAX394-3199

俳句

煌星菰野句会 石井いさお 選

紙風船昔の音で弾みけり

〔評〕久しぶりに紙風船をついてみた。その瞬間小さい頃の思い出がいっぺんに蘇った。昔の音が眼目で、無駄を言わず、この表現が全てを受け留めている。よき表現で生きた句。

咲く花の強き意思あり野水仙

雪しんしんピルを呑みゆく白き闇

ふらここの歪む軌跡や乗り捨てて

風を呑み火の太りゆく野焼晴

山頂の樹氷浄土や銀明かり

天焦がし月光を灼く大どんど

溶け残るてふ未練あり雪だるま

陽のぬくみまでが馳走の干菜汁

畦を焼く走り火とならず直黒に

沖合ひの巨船二月の光曳き

天の壁剥けて風花宙に舞ふ

武田 巨子

久野 松夫

高橋 玲子

伊藤 孝子

中川 キヌヨ

小原 隆

山下 慶子

梅枝 あゆみ

城 明子

新保 笑子

小林 保雄

石井 いさお

■菰野町ホームページアドレス (URL) <http://www.town.komono.mie.jp/> ■菰野町電子メールアドレス keyaki@town.komono.mie.jp

*インターネットの菰野町ホームページでは、広報こものを当紙と同じ体裁でご覧いただけます。

「広報こもの」は視覚障がいのある方(障害者手帳をお持ちの方)に「声の広報」をお届けすることができます。ご希望の方は役場企画情報課(TEL391-1105/FAX391-1188)にお問い合わせください。